平成２６年度
京都大学防災研究所 研究発表講演会
プログラム

開催日：平成 27 年 2 月 23 日（月）～2 月 24 日（火） **入場無料**
場　所：京都大学宇治キャンパス（宇治市五ヶ庄）
JR 奈良線黄檗駅から徒歩約 5 分　京阪宇治線黄檗駅から徒歩約 6 分

平成 27 年 2 月 23 日（月）

所長挨拶	きはだホール（宇治おうばくプラザ）	9：30 ～ 9：35
第 2 回 DPRI Award 授賞式	きはだホール（宇治おうばくプラザ）	9：35 ～ 9：45
受賞記念講演	きはだホール（宇治おうばくプラザ）	9：45 ～ 10：45
災害調査報告	きはだホール（宇治おうばくプラザ）	11：00 ～ 14：00

※ 9：30 ～ 14：00 Ustream 配信します。　配信サイト：http://www.ustream.tv/channel/dpri

一般講演 ……… 14：15 ～ 17：45
ポスターセッション ……… 9：30 ～ 18：00

平成 27 年 2 月 24 日（火）

一般講演 ……… 9：00 ～ 12：00
ポスターセッション・コアタイム ……… 12：00 ～ 14：00
一般講演 ……… 14：00 ～ 17：00
ポスターセッション ……… 9：00 ～ 15：00
優秀発表賞授賞式・懇親会（会場：宇治生協会館）……… 18：00 ～ 20：00

一般講演会場

	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場	ハイブリッドスペース（宇治おうばくプラザ）
23 日（月）14:15 ～ 17:45	地震・火山（Ⅰ）	大気・水（Ⅰ）	大気・水（Ⅱ）	地盤（Ⅰ）	総合防災（Ⅰ）	ポスターセッション（時間は上記）
24 日（火）9:00 ～ 12:00	地震・火山（Ⅱ）	大気・水（Ⅲ）	大気・水（Ⅳ）	地盤（Ⅱ）	総合防災（Ⅱ）	
24 日（火）14:00 ～ 17:00	地震・火山（Ⅲ）	大気・水（Ⅴ）	大気・水（Ⅵ）		総合防災（Ⅲ）	

A 会場 …… きはだホール（宇治おうばくプラザ）
B 会場 …… セミナー室 1+2（宇治おうばくプラザ）
C 会場 …… セミナー室 4+5（宇治おうばくプラザ）
D 会場 …… E-114N（宇治研究所本館）
E 会場 …… S-519D（宇治研究所本館）

※詳しい会場案内図は 19 ページをご参考ください。

平成 27 年 2 月 23 日（月）
〈宇治おうばくプラザ きはだホール〉

9:30　所長挨拶
所長　大志万直人

9:35　第 2 回 DPRI Award 授賞式

受賞記念講演　9：45〜10：45

9:45
Ambient Seismic Vibrations in Seismology and Earthquake Engineering
（地震学・地震工学における微動・脈動の利用について）
メキシコ国立自治大学工学研究所
地球物理学研究所教授
Dr. Francisco José Sánchez-Sesma

災害調査報告　11：00〜14：00

11:00
続発する日本の水蒸気噴火
教授　井口正人

11:20
2014 年長野県北部の地震とその被害調査
准教授　後藤浩之・助教　土井一生

11:40
山梨の雪害　－その教訓は活かされたか－
山梨大学 地域防災・マネジメント研究センター
センター長・教授　鈴木猛康

休憩

13:10
2014 年の豪雨と土砂・水災害
－降雨・地質・地形からみた斜面防災－
准教授　松四雄騎

－土砂・洪水の氾濫特性－
准教授　竹林洋史

A 会場　一般講演
地震・火山（I）
平成 27 年 2 月 23 日（月）
14：15 ～ 17：30

14:15　A01
センシングに基づくモデル更新を利用した被災鋼骨組の耐震性能評価
○倉田真宏・鈴木明子・李小華・峰岸　楓・西野博道

14:30　A02*
Experimental Study of Concrete-filled Steel Plate Composite Coupling Beams
Hong-Song HU

14:45　A03*
Condition Assessment of Steel Shear Walls with Double-tapered Links under Earthquake Loading
○Liusheng HE・Takuma TOGO・Kazuhiro HAYASHI・Masahiro KURATA・Masayoshi NAKASHIMA

15:00　A04*
Numerical Simulations for Seismic Rehabilitation of Steel Frames Using Minimal-Disturbance Arm Damper
○Lei ZHANG・Miho SATO・Masahiro KURATA・Masayoshi NAKASHIMA

15:15　A05*
Low-cycle Fatigue Modelling of Steel Beam-column Connections Based on Lumped Damage Mechanics
○Yongtao BAI・Masahiro KURATA・Masayoshi NAKASHIMA

15:30　A06*
Derivation of Damage Curves for Quantification of Steel Beam Fractures under Earthquake Loading
○Xiaohua LI・Masahiro KURATA・Masayoshi NAKASHIMA

休憩

16:00　A07
桜島火山昭和火口における火砕流を伴う噴火の特徴
○為栗　健・井口正人

16:15　A08
桜島火山における水準測量（2014 年 11 月）
○山本圭吾・吉川　慎・松島　健・大倉敬宏・横尾亮彦・井上寛之・三島壮智・内田和也・園田忠臣・関健次郎・小松信太郎・堀田耕平・藤田詩織

16:30　A09
気象レーダによる桜島火山噴煙の観測
○真木雅之・井口正人・藤田英輔・前坂　剛・出世ゆかり・小園誠史・三輪学央・桃谷辰也・山路昭彦

16:45　A10
Current State of Volcanic Ash Dispersion Prediction
○Jonas ELIASSON・Junichi YOSHITANI

17:00　A11
インドネシア・ケルート火山噴火の前駆的地震活動における地震エネルギー放出量変化
○中道治久・井口正人・Hetty TRIASTUTY・Muhamad HENDRASTO・Iyan MULYANA

17:15　A12
2014 年口永良部島噴火に先行する 15 年にわたる火山活動の活発化
○井口正人・中道治久・為栗　健・山本圭吾

（注）発表番号右上の＊は、優秀発表賞対象者を示します。

A 会場　一般講演
地震・火山（Ⅱ）
平成 27 年 2 月 24 日（火）
9：00 ～ 11：45

9:00　A13
中央構造線断層帯（金剛山地東縁−和泉山脈南縁）における重点的な調査観測（2）
○岩田知孝・中央構造線断層帯（金剛山地東縁−和泉山脈南縁）調査観測研究グループ

9:15　A14
強震波形にもとづく2014 年長野県北部の地震の震源モデル
○浅野公之・岩田知孝・久保久彦

9:30　A15*
周期帯別の震源過程逆解析から推定される2011 年東北地震の広帯域震源特性
○久保久彦・浅野公之・岩田知孝・青井　真

9:45　A16
地盤最表層の S 波インピーダンス測定手法の開発
○後藤浩之・田中伸明・澤田純男・稲谷栄巳

10:00　A17*
2 方向入力軌跡の回転極性が構造物地震応答評価に与える影響について
○儀久昴・五十嵐晃

10:15　A18*
強震動予測のための微動と地震動を用いた京都盆地速度構造モデルの同定に関する研究
○吹原　慧・松島信一・川瀬　博

休憩

10:45　A19*
微動と地震動の観測水平上下スペクトル比の相違とそれに着目した地盤構造同定手法
○森　勇太・松島信一・川瀬　博

11:00　A20*
微動観測と MASW 手法から求めた表層速度構造の空間変動とその地震動への影響
○小阪宏之・川瀬　博・松島信一

11:15　A33*
ミャンマーにおける常時微動を用いた地盤構造の推定
○廣川夕貴・川瀬　博・松島信一

11:30　A21*
山崎断層帯周辺の地震波散乱構造と地震活動について
○水津貴弘・西上欽也

（注）発表番号右上の * は、優秀発表賞対象者を示します。

A 会場　一般講演
地震・火山（Ⅲ）
平成 27 年 2 月 24 日（火）
14：00 〜 17：00

14:00　A22
立川断層近傍における短周期地震動の評価（その1）観測地震動の空間変動特性
○津野靖士・佐口浩一郎・地元孝輔・佐藤浩章・松島信一・重藤迪子・高井伸雄・神野達夫・山中浩明・川瀬　博

14:15　A23
立川断層近傍における短周期地震動の評価（その2）表層地盤のモデル化
○地元孝輔・佐口浩一郎・津野靖士・松島信一・重藤迪子・高井伸雄・神野達夫・佐藤浩章・山中浩明・川瀬　博

14:30　A24
2014 年 11 月 22 日長野県北部の地震による長野善光寺の石灯籠の被害(序報)
加藤　護

14:45　A25
京都大学に所蔵されている自然災害史料の解読と画像化（2）
秋田　慧・福岡　浩・五島敏芳・橋本雄太・服部健太郎・伊藤和行・岩間研治・加納靖之・○中西一郎・植草眞之介・渡辺周平・安国良一

15:00　A26
圧磁気効果により地震発生直後に生じる地磁気変化の大きさの見積もり
山崎健一

15:15　A27
南海トラフ巨大地震の予測高度化を目指したフィリピン海スラブ周辺域の構造研究
○澁谷拓郎・寺石眞弘・小松信太郎・山崎健一・三浦　勉・大倉敬宏・吉川　慎・安部祐希・井口正人・為栗　健・園田忠臣・市川信夫

休憩

15:45　A28
ALOS-2/PALSAR-2 で捉えた地殻変動
○橋本　学・安藤　忍・小澤　拓・古屋正人・青木陽介

16:00　A29
InSAR と GPS を用いた歪集中帯における地震間地殻変動検出のこころみ
○高田陽一郎・鷺谷　威・西村卓也

16:15　A30
2011 年東北地震の時に GPS の 1 秒サンプリング記録に見られたの房総半島の異常共鳴
○川崎一朗・西村卓也・石井　紘・浅井康広

16:30　A31
ブータン王国の国家地震観測網の構築支援
○大見士朗・井上　公・Dowchu DRUKPA

16:45　A32
兵庫県南部地震の発生過程に関する残された課題
飯尾能久

B 会場　一般講演
大気・水（Ⅰ）
平成 27 年 2 月 23 日（月）
14：15 〜 17：45

14:15　B01*
X バンド偏波レーダによる降水粒子情報を用いた発達する積乱雲の特徴解析
○増田有俊・中北英一

14:30　B02
積乱雲の発生・発達を捉えるためのマルチセンサーによる RHI 同期観測実験
中北英一・○山口弘誠・坪木和久・大東忠保・橋口浩之・川村誠治・中川勝広・岩井宏徳・鈴木賢士・大石　哲・相馬一義・鈴木善晴・小川まり子

14:45　B03
ゲリラ豪雨危険性予知手法の高精度化に向けた積乱雲生成時の渦管構造の解析
○中北英一・佐藤悠人・西脇隆太・山口弘誠

15:00　B04*
地球温暖化予測における梅雨期の降水および大気場の変化
○岡田靖子・竹見哲也・石川裕彦

15:15　B05*
暖湿な環境下で発生する停滞性降水系の理想化数値実験
○鵜沼　昂・竹見哲也

15:30　B06*
日本に近づいてから発達する台風の特徴
○中野貴史・石川裕彦

休憩

16:00　B07*
竜巻様渦の遷移に関する数値実験
○林　悠平・竹見哲也・宮本佳明

16:15　B08
2014 年 8 月の豪雨をもたらした降水系とその発生条件
○竹見哲也・鵜沼　昂

16:30　B09*
都市周辺の地理特性に依存する都市気候の発展メカニズムの解明
○伊東瑠衣・里村雄彦・竹見哲也

16:45　B10
微気象場の LES に向けた数値計算手法の開発
井上　実

17:00　B11
比良おろしの予報にむけた高解像度数値モデルによる再現実験
○東　邦昭・古本淳一・阪本洋人・橋口浩之

17:15　B12
福島第一原子力発電所事故時における LES 局所域大気乱流計算手法に関する研究
○中山浩成・竹見哲也・永井晴康

17:30　B13
福島原発事故に伴う放射性物質の初期拡散沈着過程把握のためのデータベース構築
○谷田貝亜紀代・寶　馨・石川裕彦・石原正仁・渡辺　明・橋口浩之・小山幸伸

（注）発表番号右上の * は、優秀発表賞対象者を示します。

B 会場　一般講演
大気・水（Ⅲ）
平成 27 年 2 月 24 日（火）
9：00 ～ 12：00

9:00　B14*
解適合格子法を用いた津波·高潮シミュレーションについて
○千田　優・森　信人・安田誠宏・間瀬　肇

9:15　B15
JRA-55 を用いた長期波浪推算
○森　信人・志村智也・安田誠宏・間瀬　肇

9:30　B16*
CMIP5 に基づく瀬戸内海の長期物理環境場の将来変化予測
○今井優樹・森　信人・二宮順一・安田誠宏・間瀬　肇

9:45　B17*
気候モデル出力のバイアス補正による高潮の将来変化のアンサンブル予測
○片平成明・安田誠宏・澁谷容子・森　信人・間瀬　肇

10:00　B18*
将来気候に伴う最大クラスの高潮氾濫予測と影響評価　−台風モデルを用いた日本三大湾における検討−
○澁谷容子・森　信人・金洙列・安田誠宏・間瀬　肇

10:15　B19*
気候変動に伴う北太平洋の波浪長期変化と大規模循環場の関係
○志村智也・森　信人・安田誠宏・間瀬　肇

休憩

10:45　B20*
高潮・波浪総合モデルを用いた台風 0314 号（MAEMI）による高潮・波浪の追算
○Jung-A YANG・間瀬　肇・安田誠宏・森　信人

11:00　B21*
Characteristics of Tsunami Waves and Forces by Hybrid Tsunami Generator
○Adi PRASETYO・Victoria C. TOMICZEK・Tomohiro YASUDA・Nobuhito MORI・Hajime MASE・Tetsuya HIRAISHI

11:15　B22*
陸域遡上津波の再現計算と被害評価
森　信人・○宮下卓也・間瀬　肇・安田誠宏

11:30　B23*
気候変動が海岸堤防・護岸の被災確率に及ぼす影響解析
玉田　崇・間瀬　肇・○相松孝暢・安田誠宏・森　信人

11:45　B24*
Met-ocean in Thailand
○Wissanu HATTHA・Tetsuya HIRAISHI

（注）発表番号右上の * は、優秀発表賞対象者を示します。

B 会場　一般講演
大気・水（V）
平成 27 年 2 月 24 日（火）
14：00 〜 15：45

14:00　B25*
プラネタリー波群速度を用いた成層圏突然昇温の励起源に関する解析
○上田　学・向川　均・小寺邦彦・野口峻佑

14:15　B26*
熱帯季節内振動に対する冬季中高緯度大気の応答特性
○山田　賢・向川　均

14:30　B27*
成層圏における惑星規模波反射現象の予測可能性 : 2014 年 2 月の事例のアンサンブル再予報実験
○野口峻佑・向川　均・黒田友二・水田　亮

14:45　B28
成層圏−対流圏力学結合における惑星規模波の反射の役割
○向川　均・小寺邦彦・黒田友二・野口峻佑

15:00　B29
北半球高緯度陸上における二酸化炭素吸収量の推定
井口敬雄

15:15　B30
Study on Wind Vulnerability of Non-engineered Houses in Leyte Island, the Philippines
○Kazuyoshi NISHIJIMA・Hiroaki NISHIMURA・Liezl Raissa TAN・Jaime HERNANDEZ

15:30　B31
建物等構造要素毎の被害評価による竜巻等の突風風速推定指標の策定
○丸山　敬・前田潤滋・奥田泰雄・小林文明・松井正宏・林　泰一・野田　稔・西嶋一欽・友清衣利子・竹内　崇

（注）発表番号右上の * は、優秀発表賞対象者を示します。

C 会場　一般講演
大気・水（Ⅱ）
平成 27 年 2 月 23 日（月）
14：15 ～ 17：45

14:15　C01
蛇かごタイプの消波工の耐波安定性について
平石哲也

14:30　C02
津波対策を考慮した既設橋梁の補強優先度評価指標
○五十嵐晃・甲元克明・川内康寛・正木英行

14:45　C03
洪水観測を目的とした自律制御水中ロボットの開発
○金子泰洸・山上路生・長坂豪士・戸田圭一

15:00　C04*
バングラデシュ・ジャムナ川におけるネスティングモデルを用いた洪水氾濫リスク評価
○橋本雅和・川池健司・中川　一・張浩

15:15　C05*
土石流ブレーカーによる土石流の制御に関する数値解析
○平塚俊祐・中川　一・川池健司

15:30　C06*
Analysis of Breach Characteristics and Equilibrium Scour Pattern for Overtopping Induced River Dyke Breach
○Pawan Kumar BHATTARAI・Hajime NAKAGAWA・Kenji KAWAIKE・Hao ZHANG

休憩

16:00　C07*
流木の流下と橋梁への集積に関する実験的研究
○長谷川祐治・中谷加奈・竹林洋史・里深好文・藤田正治

16:15　C08
2014 年に広島市で発生した土石流の流動特性
○竹林洋史・藤田正治

16:30　C09*
Three-dimensional Numerical Modeling of Free-flow Sediment Flushing: a Case Study in Kurobe River
○Taymaz ESMAEILI・Tetsuya SUMI・Sameh A. KANTOUSH

16:45　C10*
気候変動を考慮したダム堆砂進行に基づく牧尾ダムの長期的便益評価
○寺田和暉・角　哲也・竹門康弘・佐藤嘉展

17:00　C11*
排砂バイパスがダム下流の河床環境に与える影響
○粟津陽介・角　哲也・竹門康弘・小林草平

17:15　C12*
Abrasion Damage Estimation of Sediment Bypass Tunnels: Comparison between Swiss and Japanese Formulas
○Christian AUEL・Tetsuya SUMI

17:30　C13
プレートマイクロフォンを用いた掃流砂計測手法
○角　哲也・小柴孝太・堤　大三・竹門康弘

（注）発表番号右上の * は、優秀発表賞対象者を示します。

C 会場　一般講演
大気・水（Ⅳ）
平成 27 年 2 月 24 日（火）
9：00 ～ 12：00

9:00　C14
GCM 出力の解像度が積雪水量推定に及ぼす効果
○田中賢治・松井佑介・田中茂信・浜口俊雄

9:15　C15*
Addressing Water Resources Regulations under Climate Change Impact through Multi-objective Modelling in Zeravshan River Basin
○Temur KHUJANAZAROV・Ruka NAMURA・Yoshiya TOUGE・Kenji TANAKA・Shigenobu TANAKA

9:30　C16*
山岳域の陸面解析における雪氷融解プロセスに関する検討
○峠　嘉哉・田中賢治・中北英一

9:45　C17*
ザラフシャン川における積雪水資源量評価
○名村瑠架・田中賢治・峠　嘉哉・Temur KHUJANAZAROV・田中茂信・浜口俊雄

10:00　C18*
洪水氾濫を考慮した陸域水循環モデルの構築
○浅野倫矢・小林　優・田中賢治・田中茂信・浜口俊雄

10:15　C19*
気象・水環境を考慮した作付管理モデルの開発と日本域への適用
○吉弘昌史・宮田悠佑・堀　智晴・野原大督

休憩

10:45　C20
リアルタイム降雨情報に対応した浸水予測手法の検討
本間基寛

11:00　C21*
降雨流出氾濫モデルを用いたムンデニ河流域の利水ダムによる洪水被害軽減可能性の検討
○原田航太・田中茂信・田中賢治・浜口俊雄

11:15　C22
ダム建設再検証以前・建設再開後の住民問題意識の変化に関する調査研究
細田　尚

11:30　C23*
経路上の混雑の影響を考慮した津波避難行動シミュレーション
○和田洋介・堀　智晴・野原大督

11:45　C24*
Application of Flood Early Warning Using High-Resolution Ensemble Rainfall from Numerical Weather Prediction Model: Case Study of the 2013 Largest Flood Event in Japan
○Wansik YU・Eiichi NAKAKITA・Kosei YAMAGUCHI・Masaru KUNII・Tsutao OIZUMI

（注）発表番号右上の * は、優秀発表賞対象者を示します。

C 会場　一般講演
大気・水（Ⅵ）
平成 27 年 2 月 24 日（火）
14：00 〜 16：45

14:00　C25*
Ecological Riverbed Management by Changing Reach Scale Channel Configuration
〇Mikyoung CHOI・Yasuhiro TAKEMON・Tetsuya SUMI

14:15　C26*
天竜川における底生無脊椎動物の生息場寿命に関する基礎的特性の把握
〇兵藤　誠・竹門康弘・角　哲也・鳥居高明・小林草平

14:30　C27
淀川水系における瀬の地形分析によるアユの生息場ポテンシャル推定
〇竹門康弘・三島康二・Mikyoung CHOI・角　哲也

14:45　C28
宇治川におけるトビケラ優占種の有効積算温量の推定：成虫の季節消長パターンに基づく分析
〇小林草平・竹門康弘・角　哲也

15:00　C29*
地下水環境への気候変動影響のアンサンブル評価に関する研究
〇北側有輝・城戸由能・中北英一

15:15　C30
インドネシア・中央カリマンタン熱帯泥炭湿地林における地下水流動解析
〇城戸由能・神田亜希子・峠　嘉哉・北側有輝・中北英一

休憩

15:45　C31
我が国の降水特性の長期変化
田中茂信

16:00　C32
アンサンブル水文予測情報を考慮したダム利水操作の効果分析手法の検討
〇野原大督・得津萌佳・堀　智晴

16:15　C33
人工群知能を用いた重力ダム設計基本断面の最適化と長期ダム安定性管理への応用
〇浜口俊雄・田中茂信・角　哲也

16:30　C34
Integrated Management of Flash Flood in Wadi System of Egypt: Disaster Prevention and Water Harvesting
〇Sameh A. KANTOUSH・Tetsuya SUMI・Mohammed ABDELFATTAH

（注）発表番号右上の＊は、優秀発表賞対象者を示します。

D 会場　一般講演
地盤（Ｉ）
平成 27 年 2 月 23 日（月）
14：15 ～ 16：45

14:15　D01
3 ヒンジプレキャストアーチカルバートの地震時挙動に関する強震応答実験
○澤村康生・石原央之・岸田　潔・木村　亮

14:30　D03
異なる物理探査の併用調査による古いため池堤体内部構造の推定
○古谷　元・王功輝・若井明彦・土井一生・堀　宗朗

14:45　D04
盛土斜面における地震動・間隙水圧応答の特徴
○土井一生・釜井俊孝

15:00　D05
Initiation and Movement of a Cosesimic Loess Flowslide Induced by the 2013 Minxian (Mw 6.6) Earthquake, China
○Fanyu ZHANG・Gonghui WANG

15:15　D06
地震時に崩壊した降下火砕物の層序, 貫入抵抗プロファイルの共通性について
○千木良雅弘・中野真帆・土谷樹生・鈴木毅彦

15:30　D07
日本列島における風化ローム層の分布・層厚・年代と潜在的崩壊危険度
鈴木毅彦

休憩

16:00　D08
京都東山における 1185 年元暦地震による斜面崩壊堆積物の分布
釜井俊孝

16:15　D09*
Frictional Instability of Locally Sheared Granular Materials: Does it Depend on Particle Size?
○Yao JIANG・Gonghui WANG・Toshitaka KAMAI

16:30　D10
スメクタイトに富む地すべり粘土の土質特性
○柴崎達也・松浦純生・岡本　隆

（注）発表番号右上の * は、優秀発表賞対象者を示します。

D 会場　一般講演
地盤（Ⅱ）
平成 27 年 2 月 24 日（火）
9：00 ～ 11：30

9:00 D11
雪面の凹凸が融雪強度に及ぼす影響
○松浦純生・柴崎達也・佐藤北斗・大澤　光・中町　聡

9:15 D12*
積雪荷重が浅層地すべり地の水分浸透へ及ぼす影響
○大澤　光・松浦純生・岡本　隆・松四雄騎・寺嶋智巳・柴崎達也

9:30 D13
花崗岩およびホルンフェルスを基盤とする山地における豪雨による表層崩壊の発生機構
○松四雄騎・千木良雅弘・鄒青穎・渡壁卓磨・平田康人

9:45 D14
豪雨による花崗岩風化地域における土砂流動化現象 −2014 年 8 月の広島土砂災害について−
○王功輝・江耀

10:00 D15*
花崗斑岩が球状風化する際の亀裂発達について
○平田康人・千木良雅弘・陳友晴

10:15 D16
付加体中の低角断層沿いに発生した深層崩壊について
○荒井紀之・千木良雅弘

休憩

10:45 D17*
The Effect of Step-pool Development on Sediment Transport Following Blockage of a Mountain Gully by a Landslide: An Experimental Study
○Ching-Ying TSOU・Su-Chin CHEN・Chia-Ning YANG

11:00 D18
結晶片岩地すべり地での水質分析調査結果について
○末峯　章・日浦啓全・小林昌弘

11:15 D19
数値地図を用いた既往地すべり土塊検出方法
齊藤隆志

（注）発表番号右上の * は、優秀発表賞対象者を示します。

E 会場　一般講演
総合防災（Ⅰ）
平成 27 年 2 月 23 日（月）
14：15～17：15

14:15　E01*
Influence of Big Sediment Particles on Sediment Dispersion in Abukuma River Mouth Zone During Extreme Discharges
○Josko TROSELJ・Yosuke YAMASHIKI・Kaoru TAKARA

14:30　E02*
A Method of Rainfall Designing for Flood Risk Assessment
○Xinyu JIANG・Hirokazu TATANO

14:45　E03*
Study on Estimation for Applicability of Overflow Discharge Equation under Pressurized Flow Condition
○Dongwoo KO・Hajime NAKAGAWA・Kenji KAWAIKE

15:00　E04*
Business Interruption Loss Assessment of Flood Disaster for Industrial Sectors
○Lijiao YANG・Hirokazu TATANO・Yoshio KAJITANI

15:15　E05*
Challenges of Conducting Social Network Surveys for Exploring the Dynamics of Community's Disaster Preparedness Behaviors: Voices from the Fields of Ghana
○Subhajyoti SAMADDAR・Muneta YOKOMATSU・Hirohiko ISHIKAWA

15:30　E06
Spatial Interaction and Environmental Health Attitudes of Nigerian Migrants in the UK
Emmanuel M. AKPABIO

休憩

16:00　E07*
常時微動計測に基づく中国における建物の振動特性に関する研究
○那仁満都拉・宝音図・松島信一・川瀬　博

16:15　E08*
実大鉄骨架構の同定構造と静的試験結果に基づいた摩擦制震壁の有効性に関する研究
○畠山直己・川瀬　博・松島信一

16:30　E09*
地震動 HVR を用いた地盤構造の同定と基盤入射波の逆算
長嶋史明

16:45　E10*
南海トラフにおける海溝型巨大地震に対する定量的被害予測及び発災インパクト予測に関する研究
○宝音図・川瀬　博・松島信一・那仁満都拉

17:00　E11*
長周期構造物の挙動シミュレーションのための模型振動実験に関する研究
野田卓見

（注）発表番号右上の＊は、優秀発表賞対象者を示します。

E 会場　一般講演
総合防災（Ⅱ）
平成 27 年 2 月 24 日（火）
9：00～11：45

9:00　E12*
東日本大震災の被災地における当事者の主体性～「クロスロード：大洗編」の作成を通じて～
李フシン

9:15　E13*
災害復興における当事者調査の可能性
宮本　匠

9:30　E14*
Retrospective Analysis of Community's Concerns on Flood Risk and Its Reduction in Shiga Prefecture, Japan
○Junho CHOI・Subhajyoti SAMADDAR・Hirokazu TATANO

9:45　E15*
地域の祭りがつくる多様な人々の交流－神戸市復興地域の縁日と地蔵盆に着目して－
○小谷仁務・横松宗太

10:00　E16*
小学校における地震観測への参加による防災教育―地震計メンテナンスの役割継承と知識の共有について―
○岩堀卓弥・矢守克也・飯尾能久・米田　格

10:15　E17*
エージェントシミュレーションを用いた津波避難評価システムに関する考察
○杉山高志・矢守克也・畑山満則・近藤誠司・鈴木進吾

休憩

10:45　E18*
地域住民の避難行動意向の時系列分析による津波避難計画づくりの評価
○中居楓子・畑山満則・矢守克也

11:00　E19*
工業用水の災害時生活用水としての利用可能性に関する研究
○吉澤源太郎・畑山満則・多々納裕一

11:15　E20*
干ばつリスクと作物被害を考慮した経済成長分析：パキスタンを対象とした多地域多産業モデル
○石渡裕明・鈴木悠史・横松宗太・澤田洋平・小池俊雄

11:30　E21*
利用者均衡配分問題を制約条件としたSCGEモデルの検討
○玉置哲也・多々納裕一

（注）発表番号右上の＊は、優秀発表賞対象者を示します。

E 会場　一般講演
総合防災（Ⅲ）
平成 27 年 2 月 24 日（火）
14：00～17：00

14:00　E22
大規模災害後の外貿コンテナ貨物の代替港湾の推計と港湾 BCP への適用
○赤倉康寛・小野憲司・渡部富博・川村　浩

14:15　E23
港湾物流事業継続計画策定のための方法論に関する研究
○小野憲司・赤倉康寛

14:30　E24
救援物資の地域間リスク分散型備蓄モデルの提案
○横松宗太・梶原哲郎・伊藤秀行・Wisinee WISETJINDAWAT

14:45　E25
防災施策の経済評価の現状と課題
多々納裕一

15:00　E26
低頻度巨大災害に備える施設計画意思決定の考え方
吉谷純一

15:15　E27
マルチエージェントシミュレーションの災害時避難問題への適用に関する一考察
畑山満則

休憩

15:45　E28
ことばと曖昧性（災害情報伝達の場合）
新井恭子

16:00　E29
可能最大値を導入した水文頻度解析
寶　馨

16:15　E30
地域防災へ適用するための簡便な斜面危険度評価手法の開発
○藤本将光・藤田正治・山川陽介・宮田秀介・三森利昭・地頭薗隆・戸田堅一郎・堤　大三

16:30　E31
大分平野における微動観測に基づく浅部地盤速度構造の推定の序報
○松島信一・福岡侑里・廣川夕貴・川瀬　博

16:45　E32
2013 年 8 月に南相馬市で観測された放射能バースト現象について
○新添多聞・原田浩二・石川裕彦・小泉昭夫

ポスターセッション

平成 27 年 2 月 23 日（月）9:30～18:00
平成 27 年 2 月 24 日（火）9:00～15:00

ポスターセッション・コアタイム

平成 27 年 2 月 24 日（火）12:00～14:00

P01*
応答スペクトルの増幅率に寄与する地盤震動パラメータの検討
○新垣芳一・澤田純男・後藤浩之

P02*
AMT 稠密観測による中央構造線断層帯の浅部比抵抗構造
○大内悠平・吉村令慧・田中大資・米田　格・山崎友也

P03*
岩石の比抵抗イメージングにむけた数値計算手法の開発および岩石実験に関する研究
○鈴木健士・吉村令慧・大志万直人

P04*
中・大規模地震における地震波エネルギーの推定
○木内亮太・James J. MORI

P05*
地震波干渉法による西南日本における地球内部の反射面検出
○三輪直寛・大見士朗

P06*
P 波・S 波を用いた飛騨地域における深部低周波地震の震源決定
○林　栄昌・James J. MORI・大見士朗

P07*
GNSS データから推定された琉球弧南西部の地殻変動
○小池俊貴・西村卓也・宮崎真一

P08*
GNSS・傾斜・伸縮データの複合解析によって明らかにした桜島火山の地盤変動源
○堀田耕平・井口正人・大倉敬宏・山本圭吾

P09*
岩盤侵食河川における河床の勾配・蛇行度および礫の粒径に対応した下刻速度の縦断変化
○渡壁卓磨・松四雄騎・小玉芳敬・松崎浩之

P10*
林内の融雪に関する風洞実験
○佐藤北斗・松浦純生・阿部　修・平島寛行・望月重人・丸山　敬・柴崎達也・大澤　光・中町　聡

P11*
土砂災害警戒避難に影響を及ぼすハザード群に関する研究
○山野井一輝・藤田正治

P12*
Modelling the Deposition Process of Failed Bank Material
○ALY EL-Dien AHMED・Hiroshi TAKEBAYASHI・Masaharu FUJITA・Shusuke MIYATA

P13*
Erosion Characteristic of Bed Composed of Cohesive and Non-cohesive Material
○Nguyen Manh Minh TOAN・Hiroshi TAKEBAYASHI・Masaharu FUJITA・Syusuke MIYATA

P14
余震および常時微動観測による福島県浪江町市街地の地盤震動特性評価
後藤浩之・羽田浩二・○澤田純男・吉田　望・大内　徹

P15
中央構造線断層帯周辺での広帯域 MT 観測
○吉村令慧・米田　格・小川康雄

（注）発表番号右上の * は、優秀発表賞対象者を示します。

P16
燃料電池による地震観測のための電源確保
〇加納靖之・吉村令慧・片尾　浩・前田健作・山下全広

P17
近年の地殻変動連続観測データ
森井　亙

P18
宮崎地殻変動観測所における地殻変動と日向灘地域の地震活動
〇寺石眞弘・山﨑健一・小松信太郎

P19
微小地震の発震機構について
片尾　浩

P20
阿蘇カルデラ周辺の表層電気伝導度分布
〇鍵山恒臣・吉川　慎・宇津木充

P21
琵琶湖西岸断層帯湖底断層域の湖底地形と堆積物構造
〇竹村恵二・原口　強・平倉瑤子・釜井俊孝

P22
崩壊性地すべり地のハロイサイト含有粘土の力学特性
〇飛田哲男・王功輝・鈴木毅彦・千木良雅弘

P23
時間領域反射測定法を利用した流砂計測に関する実験的研究
〇宮田秀介・藤田正治

P24
河川堤防の越流決壊による堤内地流入洪水の規模予測に関する研究
〇中川　一・水谷英朗・川池健司・張浩・北口　修・王瑜

P25
流起式可動防波堤の性能評価水理実験
〇東　良慶・田中裕介・伊藤忠男・半田英明・平石哲也・菅野高弘

P26
鉛直分布を考慮した掃流砂観測手法の検討
〇堤　大三・天野唯子・長谷川祐治・市田児太朗・野中理伸

P27
西谷川流域における水文量と流砂の総合観測
〇武藤裕則・水谷英朗・馬場康之・田村隆雄・久保輝広・小井宣秀・河尻拓郎

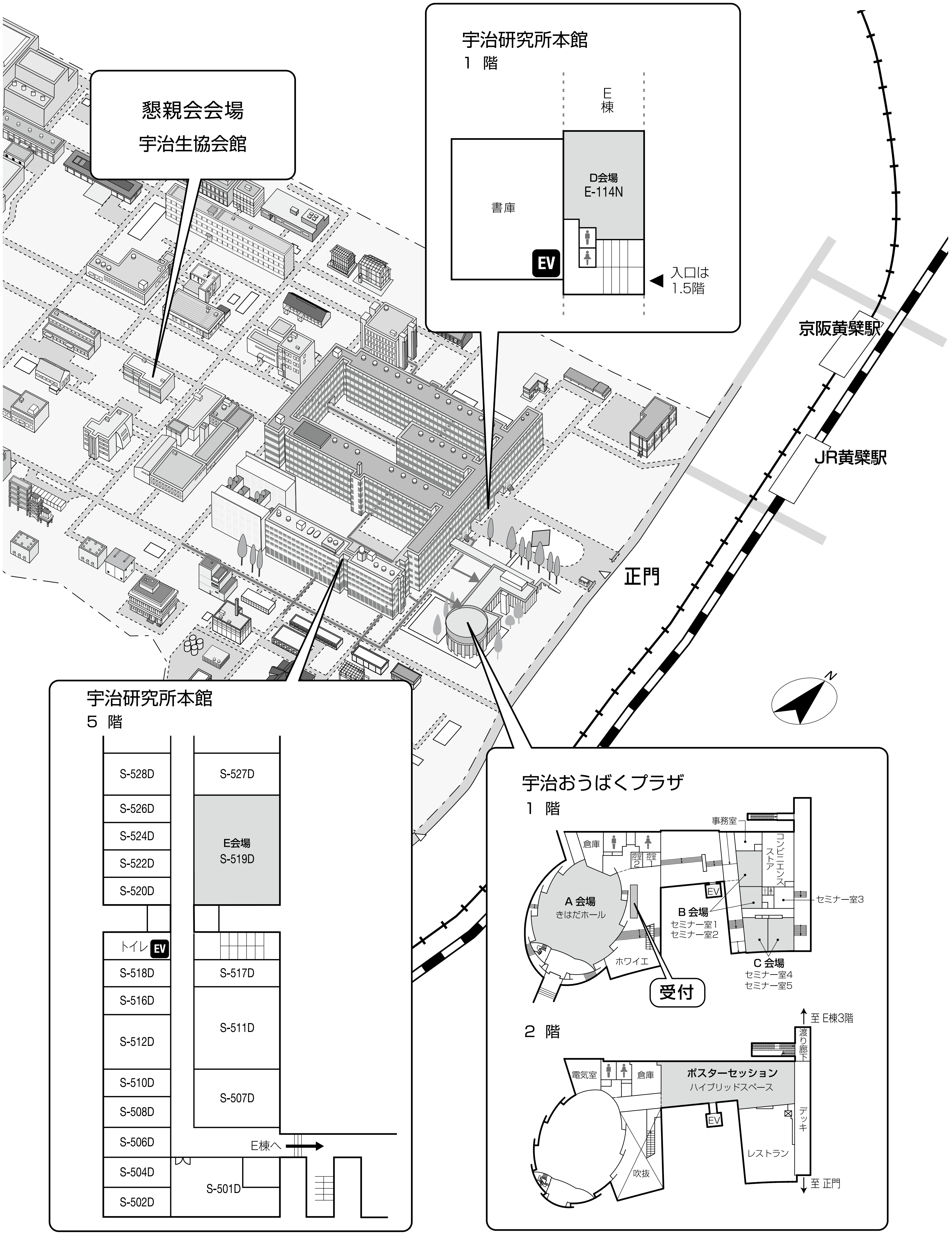
P28
和歌山県富田川河口の地形変化計測
〇水谷英朗・馬場康之・久保輝広

P29
田辺中島高潮観測塔における2014年夏季観測結果
〇馬場康之・水谷英朗・久保輝広・内山雄介・森　信人・渡部靖憲・山田朋人・猿渡亜由未・大塚淳一・二宮順一

P30
Application of TC Ensemble Technique to Tropical Cyclone over the Bay of Bengal
〇Sanat Kumar DAS・Hirohiko ISHIKAWA

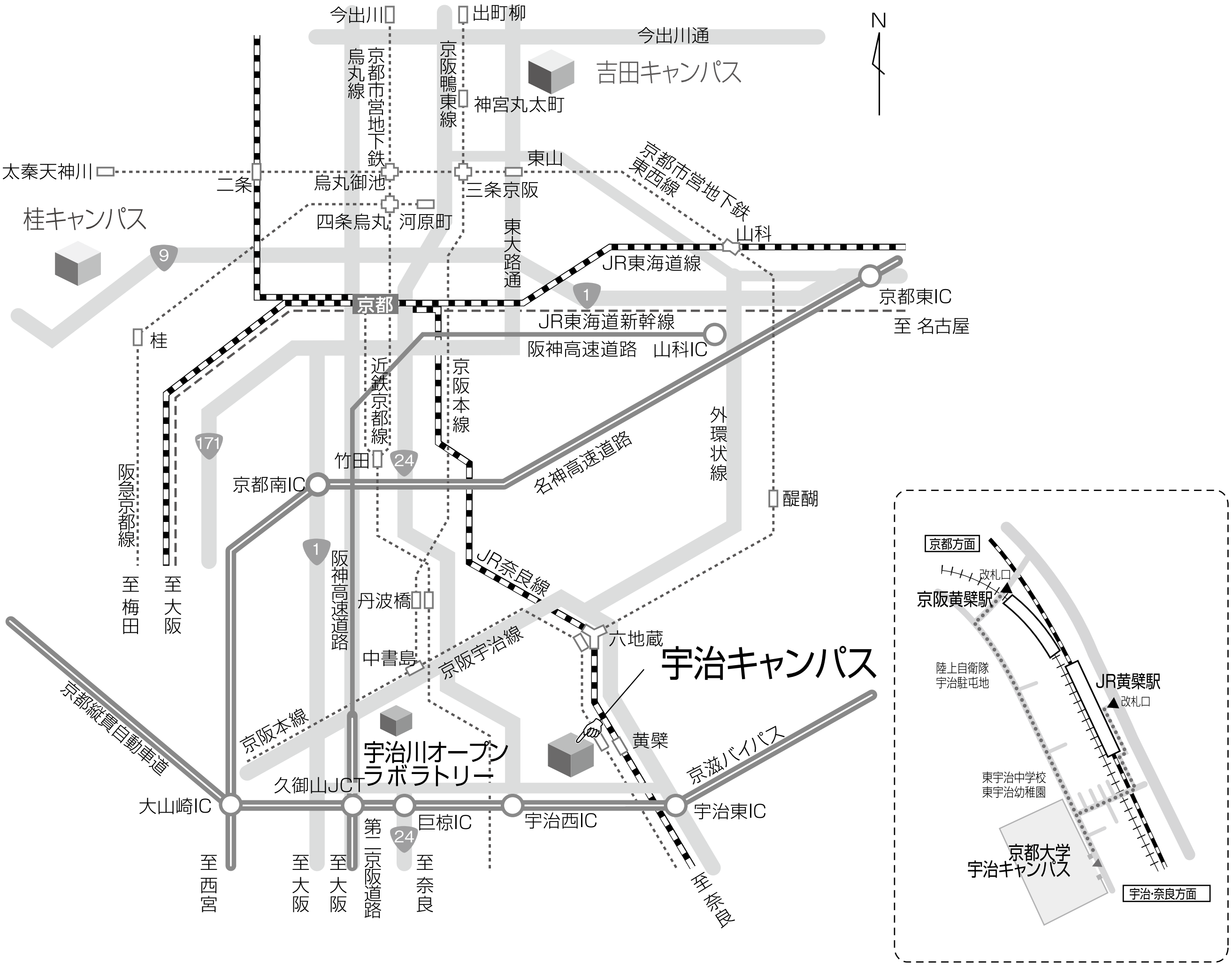
P31
大阪湾上におけるGNSSを用いた水蒸気分布と豪雨に関する研究
〇大石　哲・山口弘誠・小川まり子・中　大輔・林　和成・中北英一

P32
都市近郊における大気境界層の観測ー不安定時と中立に近い時の乱流構造の比較ー
堀口光章



懇親会会場
宇治生協会館
宇治研究所本館
1 階
E
棟
D会場
E-114N
書庫
EV
入口は
1.5階
京阪黄檗駅
JR黄檗駅
正門
N
宇治研究所本館
5 階
S-528D
S-527D
S-526D
S-524D
E会場
S-519D
S-522D
S-520D
トイレ
EV
S-518D
S-517D
S-516D
S-511D
S-512D
S-510D
S-507D
S-508D
S-506D
E棟へ
S-504D
S-501D
S-502D
宇治おうばくプラザ
1 階
事務室
倉庫
コンビニエンスストア
A 会場
きはだホール
EV
B 会場
セミナー室1
セミナー室2
セミナー室3
ホワイエ
受付
C 会場
セミナー室4
セミナー室5
2 階
至 E棟3階
渡り廊下
電気室
倉庫
ポスターセッション
ハイブリッドスペース
EV
デッキ
レストラン
吹抜
至 正門

会場へのアクセス



～ 優秀発表賞授賞式・懇親会のご案内 ～

日 時：平成 27 年 2 月 24 日（火） 18：00 ～ 20：00
場 所：宇治生協会館（19 ページの地図をご参考ください）

［教職員・学生の皆さまへ］
懇親会はチケット制で事前申し込みが必要です

［連絡先］
京都大学防災研究所広報出版企画室
0774（38）4640
e-mail：dpri-ksk@dpri.kyoto-u.ac.jp
http://www.dpri.kyoto-u.ac.jp